

2021年度 第1四半期 決算説明資料

2021年8月5日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

連結損益概要

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,238	2,505	267	11.9%
営業利益	43	48	5	13.5%
経常利益	▲9	35	44	—
当期純利益*	▲38	19	57	—

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、2020年4月末に豪州・ニュージーランドの板紙パッケージ事業を譲り受けたことにより、前年同期比で増収となった。
- 営業利益は、国内印刷用紙の販売数量が、前年同期に需要が大きく落ち込んだ反動で、前年同期を大きく上回ったことなどにより、増益となった。
- 投資有価証券売却益を特別利益に、福島県沖地震に伴う災害損失と石巻工場N6M/C停機に伴う減損損失を特別損失に計上。

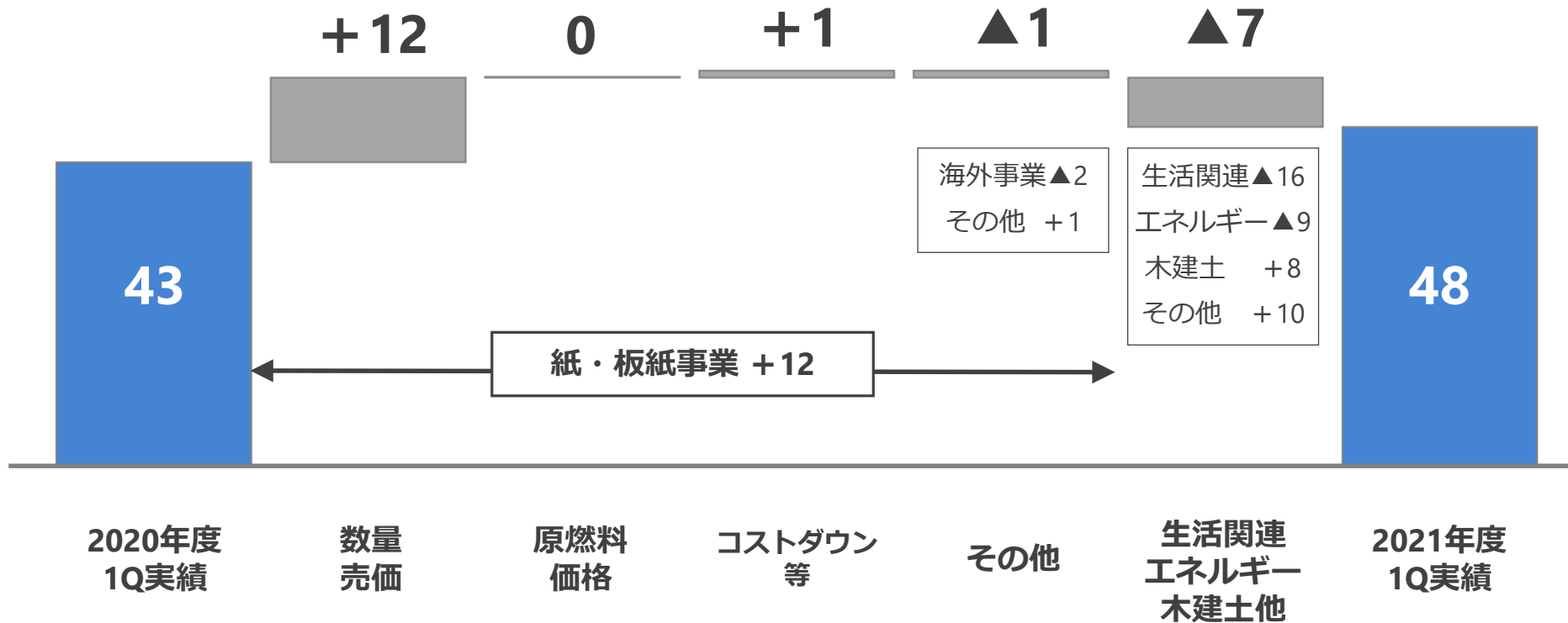
セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年 同期比	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年 同期比
紙・板紙	1,347	1,311	▲36	▲11	1	12
生活関連	633	919	286	30	14	▲16
エネルギー	76	64	▲12	14	5	▲9
木材・建材・ 土木建設関連	124	142	18	11	19	8
その他	58	69	11	▲1	9	10
合計	2,238	2,505	267	43	48	5

営業利益増減要因

(単位：億円)



増減要因内訳

(単位：億円)

数量・売価	12	-
原燃料価格	0	チップ 8、古紙 1、パルプ ▲4、重油 ▲5、石炭 0、その他 0 (価格影響 2、為替影響 ▲2)
コストダウン等	1	原価改善 9、修繕・操業用品 ▲7、労務費 1、物流費 ▲2
その他	▲1	海外事業 ▲2、減価償却 3、退職給付費用 ▲3、受払影響ほか 1
紙・板紙事業	12	
生活関連事業	▲16	国内 ▲2：パッケージ ▲1、家庭紙・ヘルスケア ▲8、ケミカル 7 海外 ▲14：オパール ▲14、NDP 3、その他 ▲3
その他事業	9	エネルギー ▲9、木建土 8、その他 10
営業利益	5	
営業外損益	39	金融収支 ▲4、持分法投資損益 5、為替差額 24、その他 14
経常利益	44	

紙・板紙事業

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比
売上高	1,347	1,311	▲36
営業利益	▲11	1	12

● 国内事業（洋紙）

- ・新聞用紙の販売数量は、福島県沖地震による影響で岩沼工場の操業が一部停止したことにより、前年同期比で▲16.7%減少。
- ・国内印刷用紙の販売数量は、前年同期に需要が大きく落ち込んだ反動により、前年同期比で+10.1%増加。

● 国内事業（板紙）

- ・国内販売数量は、工業製品向けの需要の回復に加え、加工食品や通販向けの需要が堅調に推移したことにより、前年同期比で+5.8%増加。

● 海外事業

- ・十條サーマル・SNPとも、製品価格が前年よりも下落したため、減益となった。

生活関連事業

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比
売上高	633	919	286
営業利益	30	14	▲16

● パッケージ（営業利益 前年同期比 ▲15）*

○ Opal

- ・旧APは、工場のチップコンベアのトラブルなどにより減益。
- ・買収した板紙パッケージ事業は、新型コロナウイルスの影響などにより、段ボール需要が減少。

○ 日本ダイナウェーブパッケージング（NDP）

- ・新たに稼働したドライパルプマシンの操業が順調で、パルプの販売数量が増加したことなどにより、増収増益。

○ 国内紙パック

- ・家庭用の牛乳向け容器などの需要が減少したものの、給食牛乳向け容器の需要が回復し、販売数量は前年同期を上回る。

* 「豪州・ニュージーランドの板紙パッケージ事業譲受け」に関するのれん償却費を含む

生活関連事業

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比
売上高	633	919	286
営業利益	30	14	▲16

● 家庭紙・ヘルスケア（営業利益 前年同期比 ▲8）

- ・前年同期にティッシュペーパー・トイレットロールの需要が落ち込んだ反動に加え、株式会社トライフとハンドタオルの販売統合を行ったことで、前年同期比で増収。
- ・パルプ価格をはじめとする原燃料価格の上昇などにより前年同期比で減益。

● ケミカル（営業利益 前年同期比 +7）

- ・機能性フィルムは、在宅勤務用のモバイル端末用途やスマートフォン用途などが堅調に推移し、販売数量が増加。
- ・溶解パルプ（DP）は、中国などの海外需要が回復し、販売数量が増加。
- ・機能性コーティング樹脂やCMCは、自動車の生産台数回復に伴い、販売数量が増加。

エネルギー事業

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比
売上高	76	64	▲12
営業利益	14	5	▲9

- ・再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）における激変緩和措置が終了したことなどにより、減収減益。

木材・建材・土木建設関連事業

(単位：億円)

	2020年度 1Q実績	2021年度 1Q実績	前年同期比
売上高	124	142	18
営業利益	11	19	8

- ・木材・建材は、世界規模での木材の供給不足による価格高騰に加え、新設住宅着工戸数が増加したことなどにより、増収増益。

連結損益概要

(単位：億円)

	2020年度 実績	2021年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	10,073	10,300	227	2.2%
営業利益	192	250	58	30.0%
経常利益	123	190	67	54.8%
当期純利益*	32	10	▲22	▲68.7%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

2021年度の業績予想は、5月14日に公表した内容から変更ありません。

参考資料

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

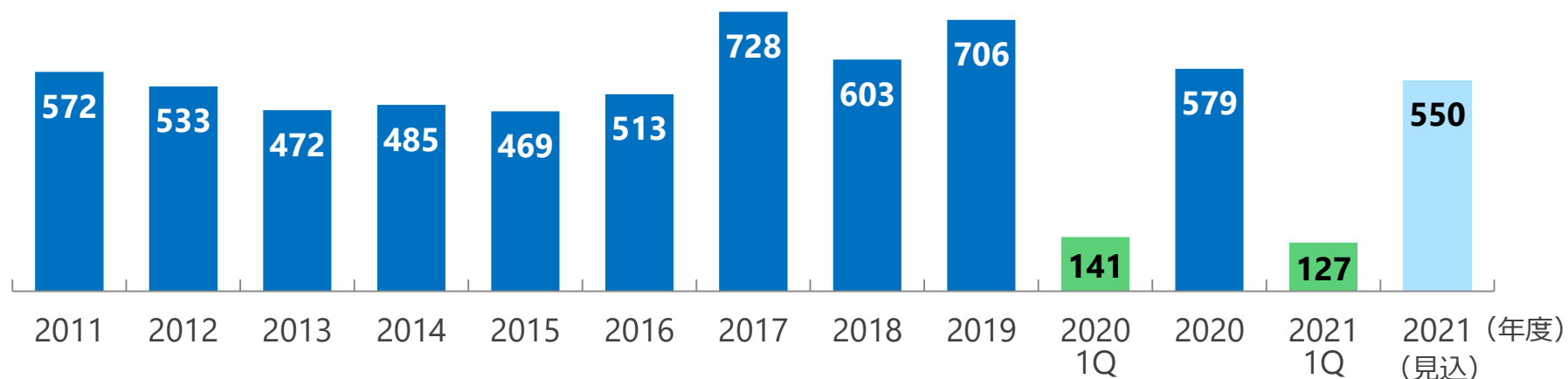
(単位：千t)

	2019年度 1Q	2020年度 1Q	2021年度 1Q	対2020	対2019
新聞用紙	208	167	139	▲16.7%	▲33.0%
印刷用紙	368	263	290	10.1%	▲21.2%
情報用紙	126	103	109	6.1%	▲13.2%
その他	90	78	81	3.6%	▲10.1%
国内	792	612	620	1.3%	▲21.8%
輸出	80	58	67	15.2%	▲16.1%
洋紙 合計	873	671	687	2.5%	▲21.2%
段ボール原紙	413	398	417	4.9%	1.0%
紙器用板紙他	87	73	81	10.7%	▲7.0%
国内	500	471	498	5.8%	▲0.4%
輸出	36	39	56	43.7%	58.3%
板紙 合計	536	510	555	8.7%	3.5%
洋紙・板紙 合計	1,409	1,181	1,242	5.2%	▲11.8%

* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

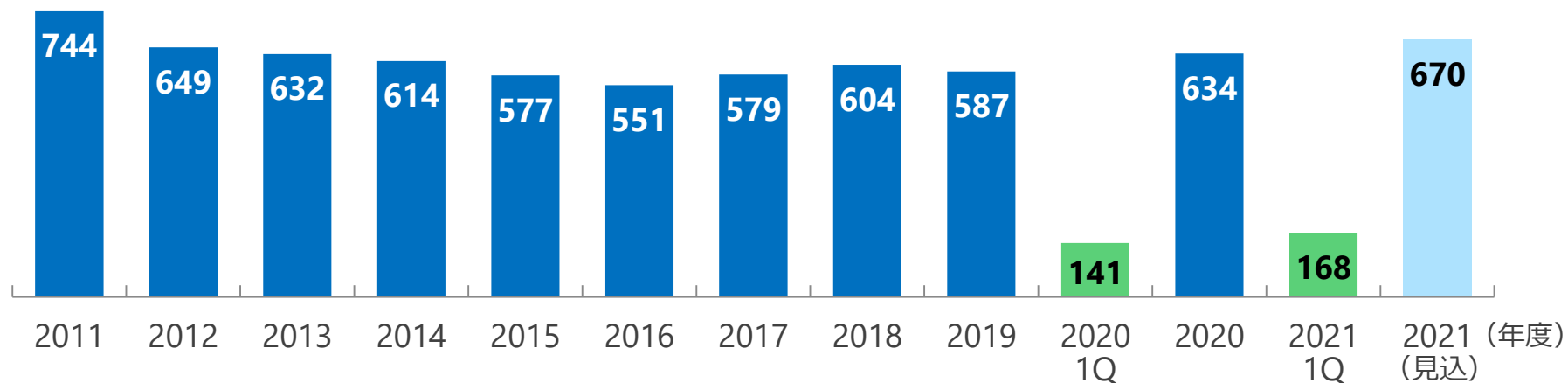
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費

(単位：億円)



(単位：億円)

	2020年度				2021年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	1,347	1,378	1,489	1,469	1,311	5,350
生活関連	633	772	917	857	919	3,800
エネルギー	76	88	77	93	64	300
木材・建材・ 土木建設関連	124	131	161	183	142	550
その他	58	67	71	82	69	300
取得関連費用	—	—	—	—	—	—
合計	2,238	2,437	2,714	2,684	2,505	10,300

セグメント別 営業利益推移



(単位：億円)

	2020年度				2021年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	通期予想
紙・板紙	▲11	▲9	18	27	1	15
生活関連	30	30	8	11	14	110
エネルギー	14	20	18	17	5	45
木材・建材・ 土木建設関連	11	13	14	27	19	65
その他	2	▲2	10	4	9	15
取得関連費用	▲3	▲55	▲1	▲1	—	—
合計	43	▲3	67	85	48	250



2021年度業績予想 (2021年5月公表)

● 主要な前提条件

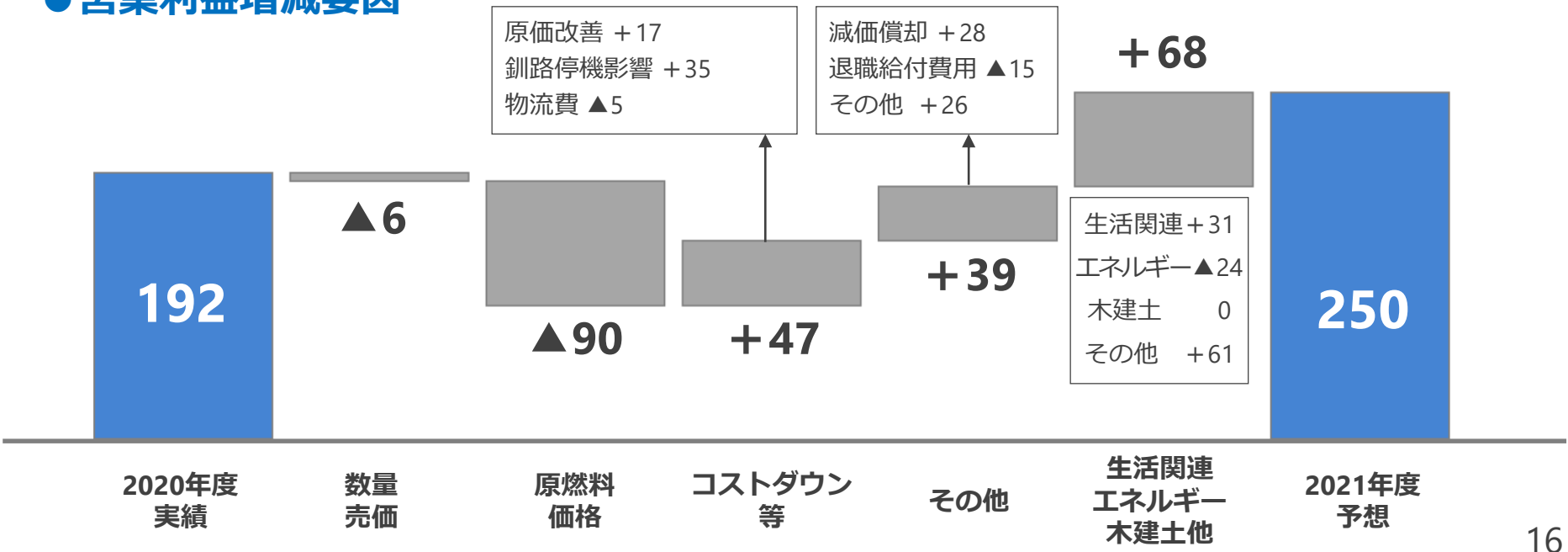
■ 国内販売数量 (対前年)

	上期	下期	通期
新聞用紙	▲9%	▲6%	▲8%
印刷用紙	+9%	▲5%	+1%
情報用紙	+4%	▲2%	+1%
段原紙	+1%	▲2%	▲1%

■ 主要原材料価格、為替

為替 (米ドル)	108円/ドル
為替感応度	米ドル1円円高で+5億円/年
石炭	85ドル/t (豪州炭ベンチマーク価格)
原油	60ドル/バレル (ドバイ)
古紙	足元の水準が継続

● 営業利益増減要因



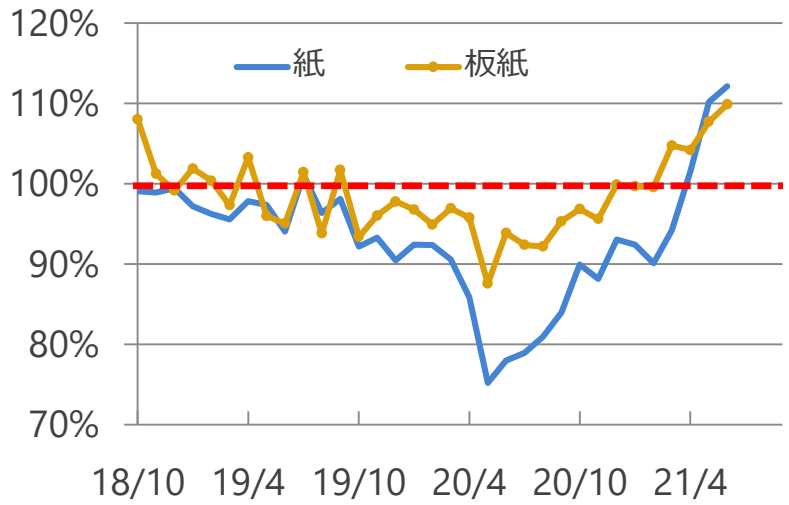
紙・板紙の国内出荷高と輸出入

(単位：千t)

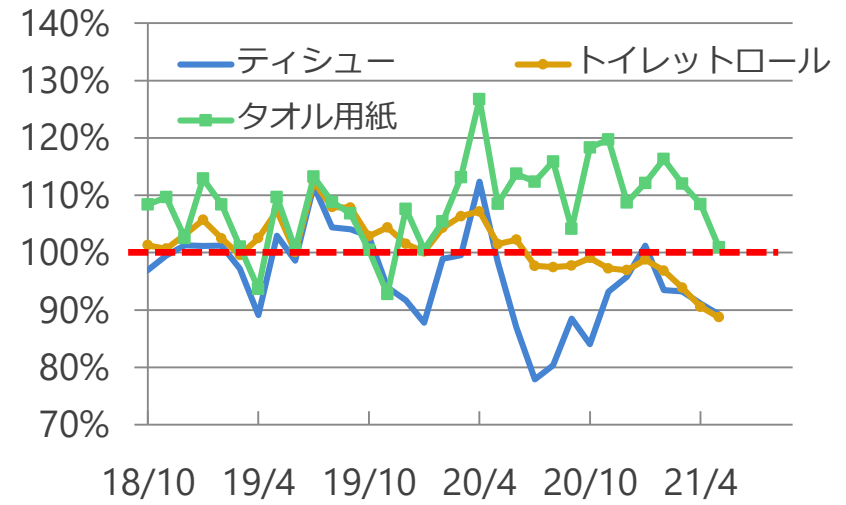
	国内出荷高			輸出			輸入		
	数量	対2020	対2019	数量	対2020	対2019	数量	対2020	対2019
新聞用紙	484	▲0.9%	▲18.0%	0	—	—	0	▲30.2%	16.9%
印刷・情報用紙	1,384	13.2%	▲18.1%	145	46.6%	10.7%	178	▲3.8%	▲38.0%
塗工印刷用紙*	717	19.0%	▲22.0%	112	54.0%	16.2%	64	6.2%	▲59.1%
非塗工印刷用紙	383	11.3%	▲12.5%	25	31.2%	▲4.1%	8	▲15.6%	▲44.8%
情報用紙	284	2.7%	▲14.6%	7	9.4%	▲7.7%	106	▲8.1%	▲8.7%
その他	762	4.1%	▲3.9%	81	19.5%	4.4%	14	18.5%	9.9%
洋紙 合計	2,630	7.6%	▲14.4%	226	35.6%	8.4%	193	▲2.6%	▲36.0%
段ボール原紙	2,300	6.4%	0.2%	269	68.9%	205.2%	9	▲28.3%	▲17.5%
紙器用板紙他	508	10.6%	▲5.5%	15	60.2%	134.4%	67	▲0.7%	▲9.0%
板紙 合計	2,807	7.1%	▲0.8%	284	68.4%	200.4%	76	▲5.1%	▲10.1%
紙・板紙合計	5,438	7.4%	▲7.9%	510	52.1%	68.3%	268	▲3.3%	▲30.3%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

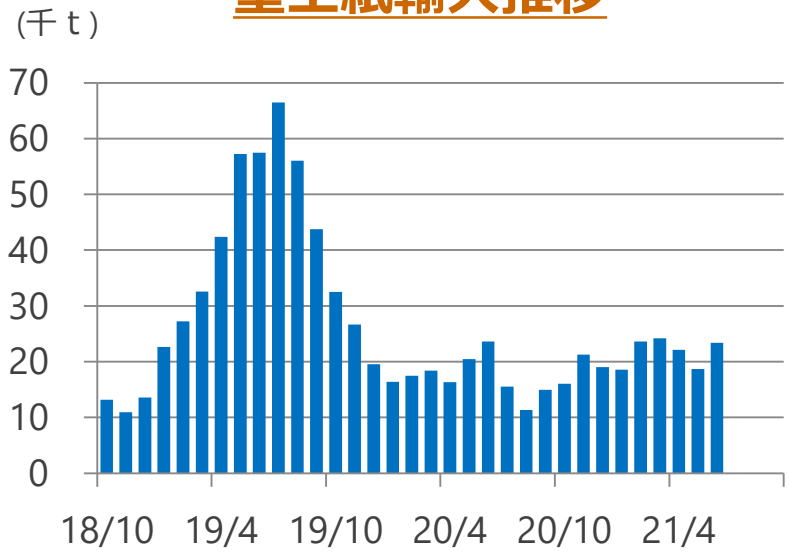
メーカー国内出荷量(対前年)



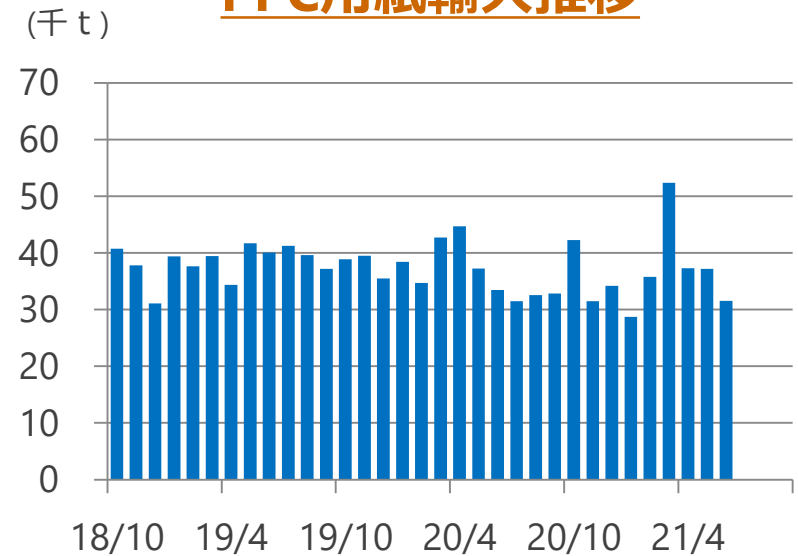
衛生用紙生産高(対前年)



塗工紙輸入推移



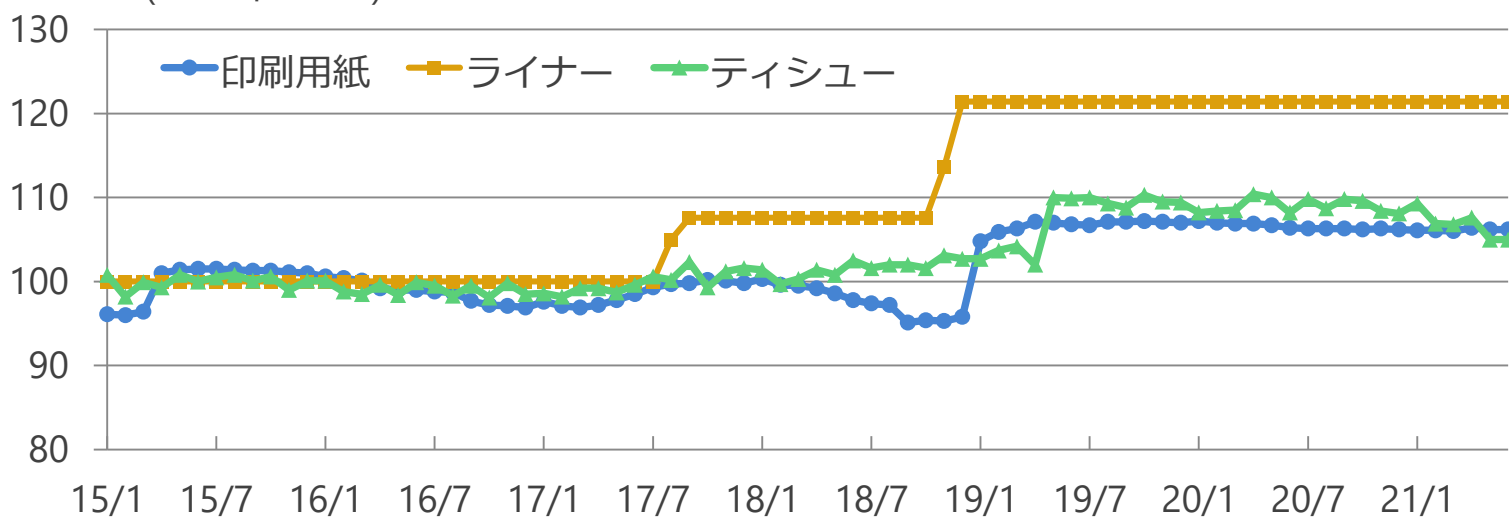
PPC用紙輸入推移



出所：日本製紙連合会、経産省生産動態統計、財務省貿易統計

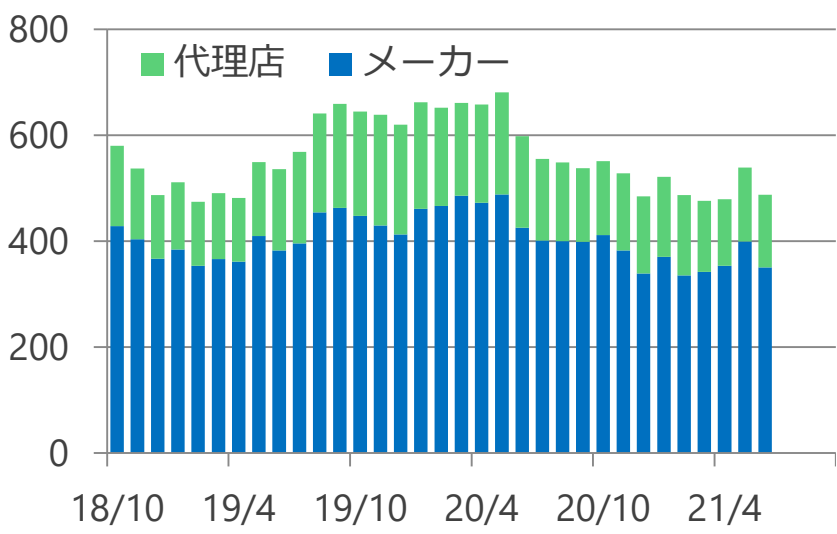
品種別価格動向

(2015年 = 100)



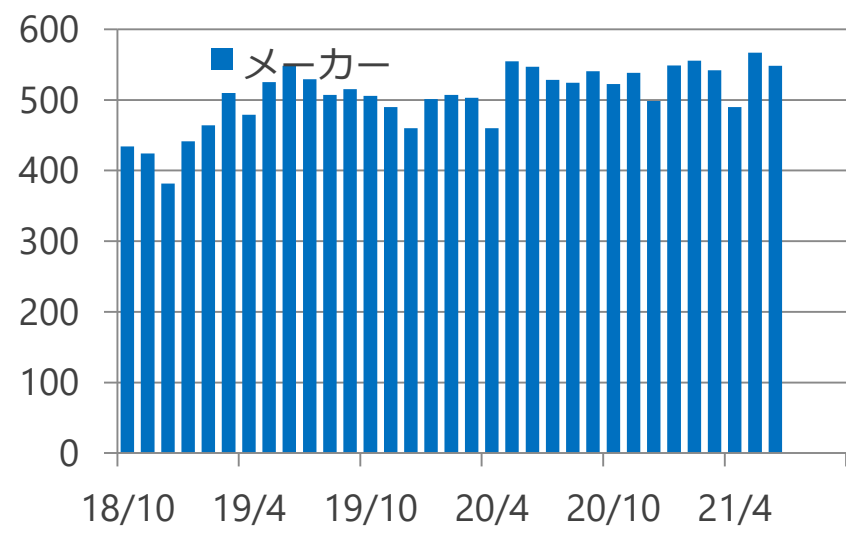
塗工紙在庫高推移

(千 t)



段原紙在庫高推移

(千 t)

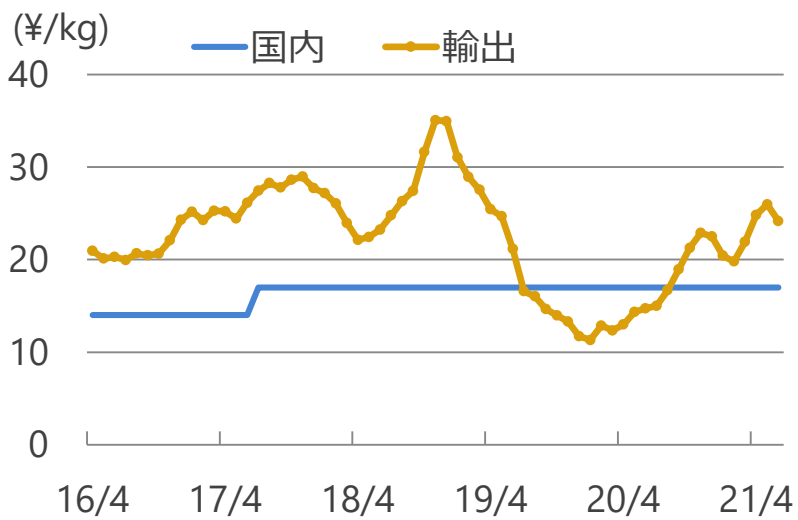


出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

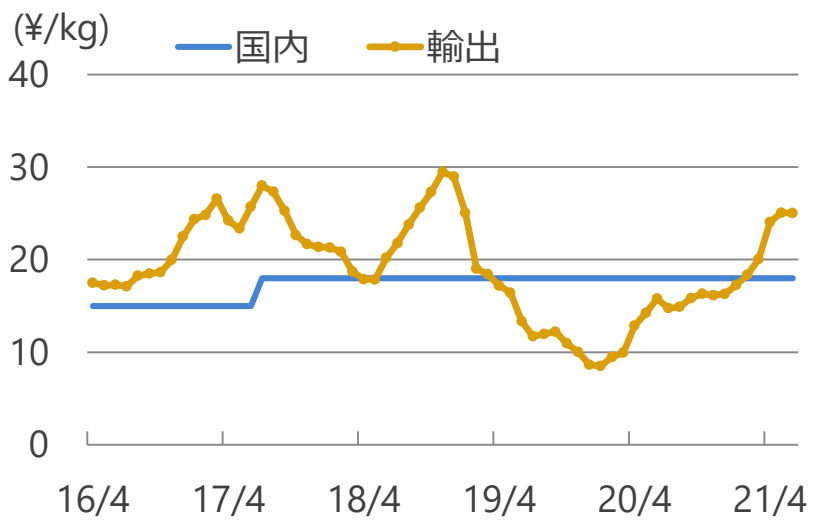


主要原燃料価格推移

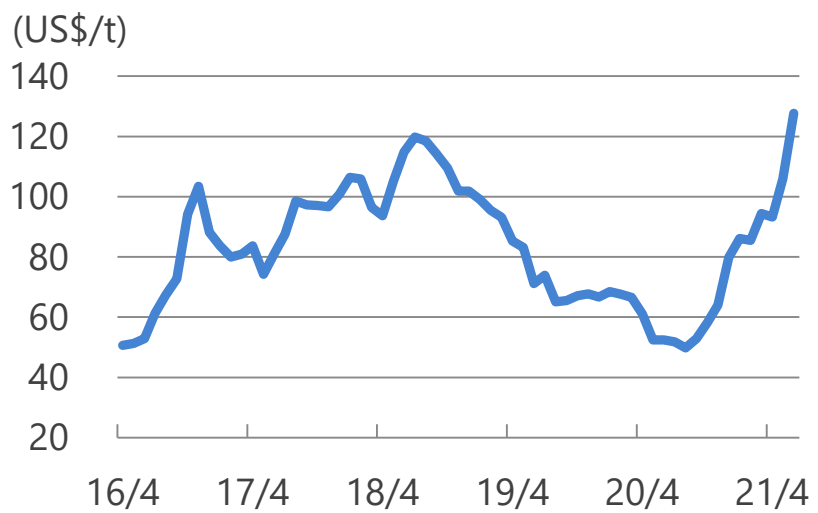
新聞古紙



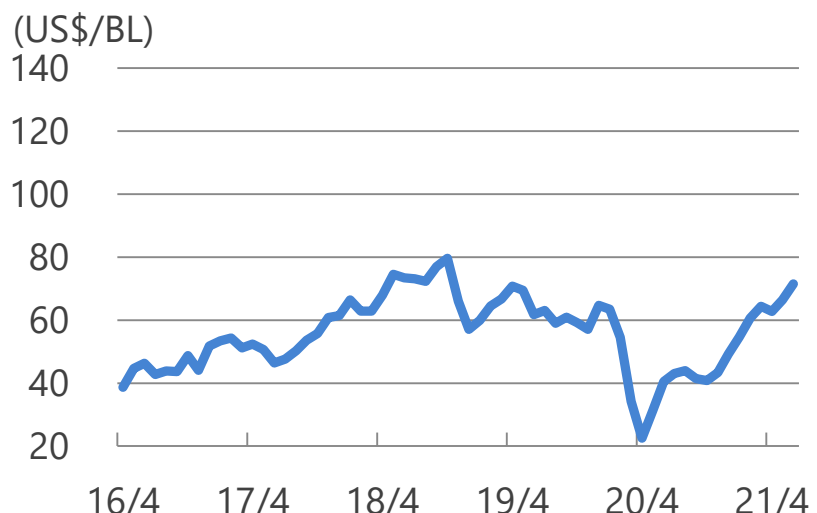
段ボール古紙



石炭



原油



出所：古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞、Global Coal Index

日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社